



2025年12月5日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ス テ ム イ ン テ グ レ ー タ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 引 屋 敷 智
(コード番号：3826 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経 営 サ ポ ー ト 本 部 経 営 企 画 部 長 岩 井 智 史
(TEL. 048-600-3880)

「理論を即実践に変える」プロジェクト管理研修サービスの事業化に関するお知らせ

株式会社システムインテグレータ（本社：さいたま市中央区、以下「当社」）は、主力製品である統合型プロジェクト管理ツール「OBPM Neo」で培ったノウハウを活用し、2026年1月より「プロジェクト管理研修サービス」を本格的に事業化することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業化の背景と目的

昨今のDX推進や基幹システム刷新の需要拡大を背景に、ITプロジェクトは大型化・複雑化の一途をたどっており、プロジェクトマネージャー（PM）やプロジェクトリーダー（PL）の人材不足と育成難は、多くの企業にとって経営課題となっております。当社には以前より、ツール提供だけでなく「実践的な教育の仕組み」に関するご要望が多数寄せられておりました。これを受け、約30社の企業様に先行導入いただき実証実験を行った結果、受講者アンケートにおいて「研修満足度100%」「現場での有用性98%」という極めて高い評価を得られたことから、この度、正式なサービスとして展開を開始いたします。

2. サービスの特徴と優位性

本サービスは、当社の「OBPM Neo」導入企業に限らず、広くIT企業や事業会社の情報システム部門を対象に提供いたします。

① 現場起点の講師陣とカリキュラム

一般的な理論学習に留まらず、10年以上の実務経験を持つ講師が、実際のプロジェクト現場で起こりうる「失敗事例」や「課題」を題材に講義を行います。

② 実践的なケーススタディ

リスク管理やステークホルダーマネジメントなど、座学では身につけにくいスキルを、実案件ベースのワークショップを通じて身につけていただきます。

③ 独自のノウハウを体系化

20年以上にわたるプロジェクト管理ツールの開発・支援実績で蓄積したノウハウを体系化し、属人化しやすい管理スキルを「再現性のある型」として習得させます。

3. 今後の展開と販売計画

2026年1月のサービス開始時には、受講者のスキルレベルに合わせた3つのコース（基礎編・実践編・応用編）を提供いたします。さらに、2026年3月には、大規模プロジェクトの計画立案に不可欠な「WBS実践強化編」を追加するなど、順次カリキュラムを拡充してまいります。本サービスの展開により、2026年3月からの2年間で約8,000万円の販売を見込んでおります。

4. 業績への影響

本件による当期の業績への影響は軽微であります。中長期的に当社の業績向上に資するものと考えております。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上